


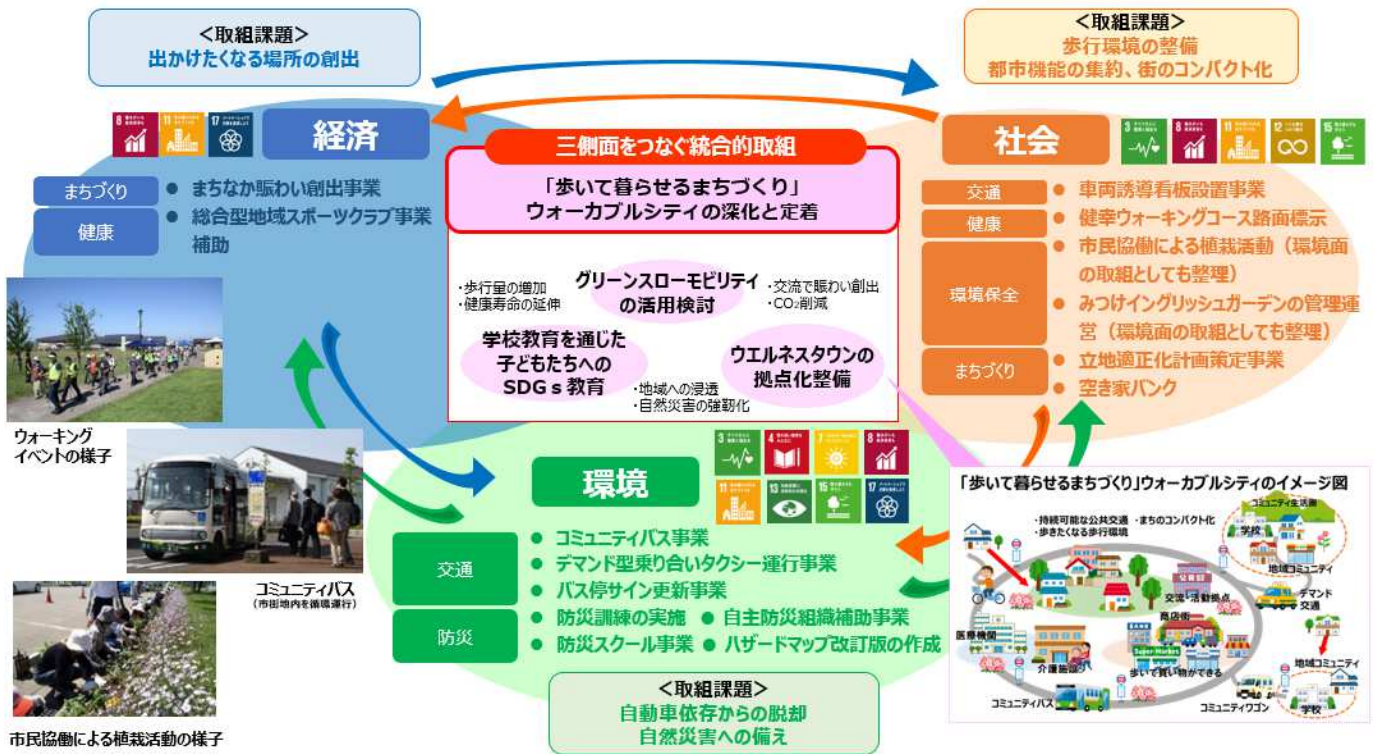
見附市SDGs未来都市計画（R1～R3の3か年計画）

資料 6

～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～

<p>1.目標及び課題</p>	<p>目標である「<u>住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市</u>」の実現にあたっては、<u>①日常生活に必要な運動量が確保される「歩いて暮らせるまちづくり」の推進</u>、<u>②社会参加を通じた交流の喜びや生きがいの享受</u>がポイントであり、公共交通の整備や誰もが社会参加しやすい場所、環境を整えることで誘導を図り、市民の行動変容に繋げていく。</p>	<p>2.関連するゴール</p>	
<p>3.取組の概要</p>	<p>「歩いて暮らせるまちづくり」の推進により、<u>歩くことで健康増進を図るとともに、まちなかに歩行者を増やし、人と人が触れ合え交流でき、賑わいのある中心市街地として都市機能を集約し、将来に渡り持続できる都市形成</u>を図る。ポイントとしては、<u>①外出しやすくする仕掛け</u>、<u>②賑わいを創出する仕掛け</u>、<u>③市民の行動変容を誘導する仕掛け</u>の3つの視点を持って、総合的に施策を展開する。</p>		

■これまでのSWC施策をSDGs的に整理して、SDGs未来都市計画を構築 →見附市のSDGsは、これまでの健幸まちづくりの延長線上にある取り組み



● KPIの進捗状況

→全体的には順調に進捗していると分析

	KPI	昨年(R1)	現在(R2)	目標(R3)	進捗状況
1	コミュニティバス利用者数	184,647人	160,381人	200,000人	↘
2	創業・起業の件数（累計）	24件	27件	24件	↑
3	中心市街地での出店数（累計）	11件	11件	12件	→
4	介護認定率の伸び率の抑制	17.6%	17.6%	18.1%	→
5	主要企業の地元就労率	40.3%	41.6%	50.0%	↗
6	見附市外から転入した人数	+71人	+85人	+150人	↗
7	20代30代の社会動態	△57人	△20人	+15人	↗

令和2年度の取り組み

①コミュニティバスのルート最適化

- ・現行ルートの課題箇所を抽出し改定ルートの方向性を策定。
- ・他にもコミバスの運行間隔のニーズ調査をした結果、約75%は現状で満足だが、約25%が更なる運行間隔の短縮を希望しており、特に朝夕の通勤通学時における短縮を望んでいることが判明。これらの調査結果を「地域公共交通計画」として取りまとめ。

②公共交通の利用促進

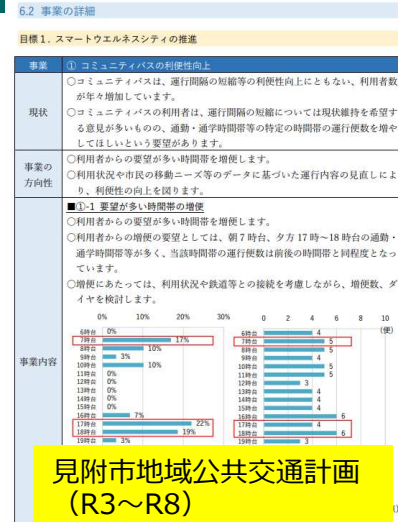
- ・コミバスの朝一番の便を「おはようライナー」と名付け、利用動態に合わせた運行ルートに変更。
- ・コロナ感染症の影響から年度当初は対前年比65%程度まで利用が落ち込んだが、最終的には対前年比87%まで回復。

③ウエルネスタウンの拠点化整備

- ・モデル地区として街並み形成を図るため、住宅取得に関する補助制度を実施。
- ・街並みが形成されたことで、更に当市のまちづくりのモデル地区として発信力が高まった。

④教育機関と連携したSDGsの啓発活動

- ・総合学習の一環としてSDGsに取り組む市内外の教育機関と連携し、当市のSDGsに関する取り組みを講演。
- ・市内小学校の事例では、児童たちがSDGsを題材としたミュージカルを公演。それを多くの保護者や地域関係者が鑑賞することで、子どもたちから大人たちへとSDGsを普及啓発させる1つのロールモデルが構築できた。



見附市地域公共交通計画 (R3~R8)



バス内の消毒作業 (コロナ対策)



SDGsを題材としたミュージカル公演



ウエルネスタウン



令和3年度の取り組み

①公共交通の利便性向上

- ・朝夕の通勤通学時の運行間隔を短縮
- ⇒朝夕のコア時間帯の運行間隔を30分から20分に短縮
- ・公共交通間の接続を意識したコミュニティバスダイヤを検討
- ⇒見附駅に定時制を持たせたダイヤ変更
- ・経路検索システムへのコミュニティバス運行情報の反映
- ⇒インターネット (ジルドン、Googleマップ) で経路検索するとコミュニティバスが表示

コミュニティバス時刻表 (R3)

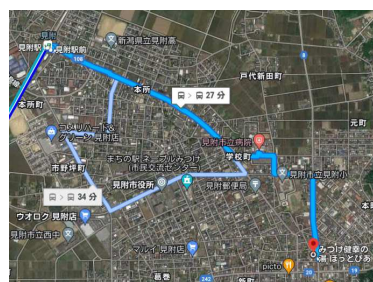
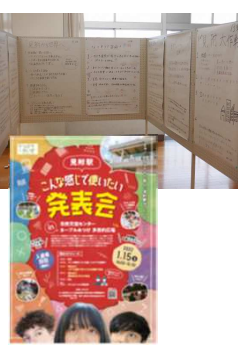
見附駅前着	見附駅前発
6:55	7:00
7:15	7:20
7:35	7:40
7:55	8:00
8:15	8:20
8:40	8:40
9:00	9:00

②見附高校のSDGs学習との連携

- ・「見附市の住みやすい未来像」をテーマとしたSDGs学習にて、当市のまちづくりを講演。
- ・SDGsの側面から地域課題を理解し、高校生の視点からの解決策を研究。
- ⇒駅周辺つかう会議と連携し、地域を活性化するためのアイデアを一般市民の前で発表



高校生たちの発表の様子



Googleマップで検索

